

管理者・主任セミナーの内容

講座第1日目 9月9日(土)

10:00～10:10	開会あいさつ 講座ガイダンスなど
10:10～12:00	第1講義・質疑
12:00～13:00	昼食休憩
13:00～14:50	第2講義・質疑
14:50～15:00	休憩
15:00～16:50	第3講義・質疑
17:00	1日目終了 会場撤収

第1講義 豊かに生きる力～発達保障は無限の可能性を引き出す

講師 池添 素 さん (福祉広場)

いま商品化された「福祉サービス」によって、福祉実践の質が大きく損なわれてきています。そんな時だからこそ、権利保障の視点を実践の中にすえること、発達保障を科学の目でとらえること、が現場には求められています。第一講義では、あらためて発達保障を切り口にして、社会福祉の仕事がもつ専門性や現場実践の楽しさについて、お話していただきます。

第2講義 社会福祉の公共性をどうつくるか

～競争・分断・軍拡との対抗関係をふまえて

講師 岡崎 祐司 先生 (佛教大学)

介護保険制度につづき障害福祉制度、保育制度にも利用契約制度が導入され、社会福祉が私的消費による商品として本格的に提供されはじめました。第二講義では、利用者・事業提供者の意識が制度とともに大きく様変わりする中、あらためて社会福祉が本来担ってきた社会福祉の公共性をとりもどすことの意義、行政との連携・共同の大切さ、などについて学びます。

第3講義 「危機の時代」にこそ生かそう、憲法9条と25条

講師 木村 草太 先生 (東京都立大学)

ロシアによるウクライナ侵攻などを口実に、政府は5年間で「防衛」予算をGDP比2%まで増額し、「敵基地」を攻撃するための長距離ミサイルを国内に配備しようとしています。日本国憲法と歴代内閣が唱えてきた憲法解釈を乱暴に踏みこむ行為は許されません。「危機の時代」にこそ日本国憲法の真価が問われます。第三講義では、日本国憲法の持つ値打ちを再発見し共有することをめざします。

講座第2日目 9月10日(日)

10:00～10:10	講座ガイダンスなど
10:10～12:00	第4講義・質疑
12:00～13:00	昼食休憩
13:00～15:50	シンポジウム (途中休憩あり)
15:50～16:00	閉会あいさつ 感想文提出等受講者へのお願い
16:00	講座終了 会場撤収

第4講義 コロナ禍が浮き彫りにした課題 ～総合社会福祉研究所ネット調査から

講師 石倉 康次 先生 (総合社会福祉研究所)

新型コロナ禍により、福祉事業が果たしている役割の重要性がひろく明らかになる一方、社会的・基本的インフラとしての社会福祉の労働条件が保障されていないことも明らかになりました。総合社会福祉研究所では、「コロナ禍で働くひとの声アンケート」を実施。第4講義ではその調査結果を踏まえて、あらためて社会福祉や自治体の果たすべき役割についてお話していただきます。

シンポジウム

報告① 新型コロナ感染症へのこれまでの事業所対応と 政府への要求内容の変化

報告者 正森 克也 さん (社会福祉経営全国会議)

報告② 惨事ストレス(CIS)と支援者ケア ～A社会福祉法人の質的調査を通して

報告者 山本 耕平 先生 (佛教大学)

報告③ 取材を通して感じた新型コロナ感染症対応の課題

報告者 西村 美智子 さん (朝日放送テレビ報道局記者)

報告④ 感染症法5類への移行後の実態と課題

報告者 さつき福祉会 より (予定)

※開催時点の状況により変更することも有ります

- 各事業所からの実態報告など参加者からの発言
- シンポジストからの中間発言・まとめの発言など

* 講座の開催形態などに関して

本講座は、会場(大阪産業創造館)とZoomによるハイブリッド形式で開催いたします。下記事項をご確認の上お申込みください。

- ①会場収容人数の関係上、1日目・2日目とも、**会場からの参加定員を80人**とさせていただきます(先着順)。会場参加希望の場合は、**1日目・2日目のそれぞれについて申込用紙の会場参加欄にチェック**を入れてください。リモート参加者の定員はZoomの規格に制限があるため、280人とさせていただきます。
- ②リモートアクセス情報は研修会資料と合わせて、**9月1日(火)までに到着するようメール・郵送の2つの方法**で申込者に送付いたします。アクセス情報は1日目と2日目で異なりますので、お間違いのないようにしてください。
- ③会場参加者に配布する資料には、質問用紙が含まれています。各講義の講師ならびにシンポジウム報告者への質問、シンポジウムにおける発言希望などについてご記入いただき当該講義・シンポジウムの終了までに提出してください。同様にZoomから参加される方は、チャット機能を使って質問・意見を述べてください。時間の許す範囲で取り上げさせていただきます。
- ④上記の連絡が届かない場合は、大阪障害者センター事務局までご連絡ください。

* 申込方法に関して

講座への申込方法は下記の通りとさせていただきます。

- ①申し込みは下記のいずれかの方法で行ってください。
 - ・この案内に織り込みの申込用紙に記入の上、大阪障害者センターまでファックス送付。
 - ・大阪障害者センターの2023年度管理者セミナー専用アドレスへのメールによる申し込み。(申込用紙に記載の上データ添付いただくか、申込用紙の項目をそのままメールに記載して送付)
 - ・Googleフォームによる申し込み。GoogleフォームのURLは、添付申し込み用紙にQRコードとともに記載しています。
 - ・なお、**お電話でも申し込みを受け付けますが、メールアドレスの記載が必須となるため、なるべく文字媒体でお申込みください。**
- ②お申込みいただいた方に、受付番号を振った受付票、必要料金の請求書と払い込み先を送付いたします。申し込み先着は受付番号発行時点で判断いたします。
- ③受講料のお支払いは**8月25日まで**にお願いします。
- ④**8月26日以降のキャンセル**については、資料発送が完了しているために**応じかねます**。ご了承ください。
- ④施設・法人単位で複数以上の職員の申し込みをされる場合は、施設・法人用申し込み書に、参加者おひとりお一人の情報をご記入ください。この場合の会場参加先着順は上段記載者からカウントしてまいります。